

## 群馬県児童養護施設卒園生を送る会報告書



森田会長挨拶



スーツ寄贈の様子



河村正剛様からのメッセージ



群養協 須田会長挨拶

2017年1月28日土曜日 伊勢崎プリオパレスにおいて、事業費全額ニコニコ BOX を活用して、群馬県内の児童養護施設 27 名の卒園生と各施設の施設長および職員の方々 19 名をお招きし、卒園生を送る会を開催しました。今回で 3 年目となる事業ですが、創始の思いを引き継ぎ、第一部では、森田会長・新井幹事はじめ 6 名のパスト会長をプレゼンターとして、出席した卒園生に男性はスーツ、靴、ワイシャツ、ベルト、ネクタイ、女性はスーツ、ブラウス、靴（昨年中に AOKI 様・シューマート様各店舗に行ってもらいサイズ合わせをしてカスタマイズが済んだ状態）をひとりひとりに心をこめて寄贈しました。そのまま別室で着替え、真新しいスーツに身をつつみ再入場してきた卒園生たちは、恥ずかしそうではあるものの、社会の荒波の中、船出していく不安を隠すかのように笑顔を見せてくれました。また、希望館 八幡の家 町田さんから卒園生を代表して感謝と今の気持ちを聞かせていただき、会場のあちらこちらで涙をこらえている様子に、私も感極まってしまい困りました。それでも、式典後の会食は、時間が足りなく感じるくらいに、楽しく有意義に行われました。

第二部では、タイガーマスク運動の先駆者、河村正剛様から「卒園される皆さまへ～ここからが大事～」というタイトルで卒園生にメッセージを贈っていただき、その様子は新聞 4 社・群テレの取材・報道もあり、同様の支援の輪が広がることを期待しています。

当事業は奉仕プロジェクト小此木 GL をはじめ、丸橋さん、原さん、安部さん、井下さん、長岡さんを中心に少数精鋭で企画・準備・実行しました。また、久保木 GL をはじめとする SAA の方々、記者対応に公共イメージ山崎 GL にも助けていただき有難うございました。他にも、急遽声掛けしてご協力いただきました会員の皆様、RAC のお二人、心から感謝申し上げます。

(報告：地域社会奉仕チームリーダー 久保 貴則)